

「野上クリニカルラダー」

看護の核となる実践能力：看護師が論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力

定義	レベル		I	II	III	IV
	レベル毎の定義		助言を受けながら安全・安楽な看護を実践する	自立して標準看護計画に基づいた看護の実践をする	個性のある看護を考え効果的な看護実践をする	予測的判断をもった看護実践をする
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】	助言を得て状況やニーズを捉える	自ら、患者・家族の状況やニーズを捉える	個性のあるニーズをとらえることができる	意図的に収集した情報を統合しニーズをとらえることができる
		【行動目標】	助言を受けながら必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面からの情報収集ができる	自ら、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面からの必要な情報収集ができる 患者・家族の課題、問題を捉える事ができる 患者・家族が必要とするニーズに気づくことができる	個性をふまえる必要な情報を収集できる 患者・家族へ自らアプローチし必要な情報を収集することができる ニーズの優先度をとらえることができる	患者・家族を取り巻く状況や身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から必要な情報収集を意図的にできる 意図的に捉えた情報から、予測的な状況判断をおこない統合しニーズをとらえる
	ケアする力	【レベル毎の目標】	助言を得て安全・安楽で確実な看護を実践する	患者・家族の状況に応じた看護を実践する	個性のある看護を実践する	患者・家族に、看護技術の選択・応用をし看護を実践する
		【行動目標】	助言を受けながら基本的な看護技術が安全・安楽に実施できる	必要な情報を収集することができる 標準看護計画にそって個性をふまえた看護ケアができる 根拠に基づいた判断のもと日常の看護ケアを実践できる	個性をふまえる必要な情報を収集することができる 得た情報からその場でニーズの優先度を考えとらえることができる 個性にあった看護ケアを実践することができる	様々なニーズに応えるため適切なケアを選択することができる 今後、おこってくるであろう問題を予測し、最良の技術選択と応用を看護実践できる
	協働する力	【レベル毎の目標】	看護チームメンバー・医療スタッフと情報共有ができる	看護実践に必要な情報交換ができる	多職種と連携がとれる	多職種との調整を図り連携できる
		【行動目標】	助言を受けながら ・必要な情報収集ができる ・情報を共有することができる ・連絡、報告、相談ができる チームメンバーの役割が理解できる 多職種の専門性や役割を知ることができる 職場環境において人間関係を築くことができる	積極的な情報交換ができる 看護実践する上で必要な関係者とコミュニケーションをとり情報交換ができる 患者・家族・医療スタッフともに円滑な人間関係をつくる ことができる	個性をとらえ多職種と協働できる ・積極的に働きかけることができる ・協力してすすめることができる ・意見交換ができる チーム間・多職種間との調整がとれる	状況に応じ予測をもって主体的に多職種と協働できる 連携を調整、維持、継続、向上することができる チーム間・多職種間・外部の医療関係者との調整がとれる
	意思決定を支える力	【レベル毎の目標】	患者・家族の意向を知ることができる	患者・家族の意向を看護に活かすことができる	場の設定をし必要な情報を提供することができる	患者・家族の意思決定を尊重ができる
		【行動目標】	患者・家族の思い、考え、希望を知ることができる	患者・家族の思い、考え、希望を意図的に確認することができる 患者・家族の思いにそったケアをリーダー、チームメンバー、医療スタッフに相談することができる	患者、家族、医療スタッフなどに必要な情報の提供ができる 患者、家族、医療スタッフなどの意向の違いを理解することができる 患者、家族、医療スタッフなどの意向の違いを多職種に代弁できる	意思決定のプロセスに看護師として参加し適切な看護ケアを実践できる
	自己教育・研究能力		助言を受けながら自己の課題をみつめることができる 院内看護教育計画に参加することができる	自己課題を積極的に学習することができる 院内教育計画・外部研修への積極的な参加により自己研鑽に努めることができる	自己の課題の達成に向け自ら積極的に学習する スタッフ、看護学生に対して教育的・指導的にかかわることができる 看護研究の実施を通して看護を深めることができる	
	組織的役割・遂行能力		チームメンバーとしての補佐的役割を果たせる 看護者の倫理綱領を理解し自身の行動指針とする	看護チーム・多職種チームの中でチームメンバーとして自立し、役割をはたすことができる 委員会活動での役割をはたすことができる 倫理綱領・倫理原則を理解しそれに基づいての行動がとれる	看護チームのリーダーシップを理解しチームリーダーとして役割遂行ができる 多職種を含むチーム内で看護専門職としての役割をはたすことができる 倫理綱領・倫理原則をもとに専門職としての倫理的行動がとれる	